令和２年３月１日発行（毎月１回１日発行）通巻第667号

林業福島

No. 667

題字　公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長　齋藤卓夫

ふくしまから
はじめよう。
Future From Fukushima.

3
2020

監　　修■福島県農林水産部
表紙の写真■天狗山の春

森林・林業の再生に向けて

福島県町村会長
北塩原村長　小　椋　敏　一

皆様方には、日頃より、町村行政の推進にご理解とご協力をいただいておりますことに厚く御礼を申し上げます。また、これまで森林の整備、保全等に日夜努力を重ねておられることに対しまして、心から敬意を表するものであります。

はじめに、昨年十月に発生した台風第十九号等により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

さて、東日本大震災以降も、自然災害は全国各地で毎年のように発生しております。特に近年の豪雨災害等は頻発化・激甚化・広域化していることから、国民の生命・財産を守る防災・減災、国土強靱化は一層重要性を増し、山地においては災害に強い森林づくりを推進するための森林整備や流木対策が急務となっております。

また、本県は県土の約七割を森林が占めており、この広大な森林は国土の保全や水源かん養等の公益的機能を有し、県民にさまざまな恩恵を与えてくれる貴重な財産でありますが、原発事故に伴う放射性物質の影響により森林整備や林業生産活動が停滞するとともに、新規林業就業者の減少や間伐の遅れによる荒廃等が進んでおり、森林・林業の再生は喫緊の課題であります。

このような中、国は来年度から、これまで浜通りを中心に実施してきたモデル事業を「里山再生事業」に発展させて、その対象地域を拡大する方針を決定したほか、県は林業の担い手を確保・育成するための研修拠点の整備を進めるなど、森林・林業の再生に向けた取組が着実に進展しております。

さらに、長年の悲願でありました森林環境税及び森林環境譲与税が創設され、令和六年度からの課税に先行し、本年度から市町村及び都道府県に譲与税の配分が開始されました。また、森林整備を一層推進するため、所要財源を確保したうえで来年度以降の譲与税が増額されることとなり、恒久的で安定的な財源が確保された訳でありますので、私どもはこのような新しい動きをしっかりと受け止め、森林の適切な管理・保全が図られるよう、町村としての役割を果たしてまいりたいと考えております。

福島県町村会といたしましては、今後も関係団体との連携を強化しながら、森林・林業の再生に向けて、全力で取り組んでまいりますので、今後とも一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

《も　く　じ》

とびら
森林・林業の再生に向けて
　福島県町村会長　北塩原村長　小　椋　敏　一 … 1
東日本大震災10年目を迎えて … 2
令和元年度林業普及指導員全体研修会を開催しました … 3
令和元年度林業研究グループ等活動発表会を開催しました … 4
「企業等による森林（もり）づくり」の活動について … 5
令和元年度森林土木研修会を開催しました … 6
緑の募金のご協力よろしくお願いいたします … 7
普及指導員通信 … 8
森連だより … 9
きのこセンターだより … 10
木の文化を育む⑫ … 11
木材市況・ふくしま東西南北 … 12
はなしのひろば・お知らせコーナー … 13

東日本大震災十年目を迎えて

福島県農林水産部　次長（森林林業担当）　飯沼隆宏

平成二三年三月十一日に発生した東日本大震災から間もなく十年目を迎えます。

これまでの九年間で、津波によりほとんどの松が流出した海岸防災林は、林帯幅を拡大し、盛土した基盤に、松の苗木が元気に育ってます。

また、放射性物質の拡散により落ち込んだ素材生産は、県内多くの地域で回復しましたが、森林整備面積は回復途上であり、野生きのこや山菜は、いまだ出荷制限等が継続されているものが多い状況です。

この九年間、復興・創生を目指し、様々な取組を実施してきた中、平成三〇年六月には、南相馬市で上皇上皇后両陛下にご臨席を賜り、全国植樹祭が開催されました。

今後も、福島県の森林・林業の再生さらには復興のため、積極的に取り組んでまいります。

◎主な被害状況

・林業等被害

森林・林産物等・林産施設・林道　一、〇七五か所　二、九九二百万円

・治山被害

林地・治山施設　一四三か所　三九、三〇九百万円

計　一、二一八か所　四二、三〇一百万円

◎主な復旧状況

（令和二年二月二八日現在）

・林道

査定　七八路線一六三か所　八五三百万円

（双葉町、浪江町が未了）

復旧工事完了　一五六か所

・山村環境施設

復旧工事完了　二地区

（平成二三年度完了）

・治山施設

査定　十三地区一一、一三九百万円

復旧工事完了　十二地区

・治山事業等（海岸防災林）

全体計画　九地区　七五、二九九百万円

復旧工事完了　一地区

・治山事業等（海岸防災林を除く）

全体計画　二八地区　九、〇三九百万円

復旧工事完了　二七地区

◎主な復興・再生に向けた取組

○ふくしま森林再生事業

広範囲に放射性物質の影響を受け森林整備が停滞したことから、市町村等の公的主体が間伐等の森林整備とその実施に必要な放射性物質対策を実施するもの。四四市町村で実施中。

○木材加工流通施設等整備事業

浪江町に年産一万五、〇〇〇立方㍍の生産が可能な大型集成材製材工場を整備中。

○緊急時環境放射線モニタリング

きのこ・山菜等の安全性を確認するとともに、出荷制限解除に向けたモニタリング検査の実施中。

○里山再生事業

里山の再生を進めるために森林整備・除染・線量測定を一体的に実施した里山再生モデル事業。その成果を踏まえ、来年度より四八市町村を対象に里山再生事業を実施する予定。

○ふくしま植樹祭

第六九回全国植樹祭の開催理念を継承したふくしま植樹祭を平成三〇年度から実施し、昨年十月六日に第二回ふくしま植樹祭を開催。今後も継続して開催する予定。

平成二三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震による東日本大震災からの復旧・復興に取り組んで十年目に入ろうとしています。本誌は平成二三年四月、災害の概要を取りまとめるとともに、その後の対応にも役立つよう東日本大震災特集号を発行いたしました。

今日まで、多くの人々の懸命な努力により復旧が進んでおります。この間、森林・林業に関する新たな知見が得られたり、要請に応じた施策が実行されてきました。本誌では発災以降の対応を振り返りながら、復旧・復興に関する最新の技術や施策、現場での取組をシリーズでお伝えしてまいります。

（編集部）

令和元年度

林業普及指導員全体研修会を開催しました

福島県林業振興課

令和元年度林業普及指導員全体研修会を令和二年一月二七日（月）、県林業研究センター研修本館で開催し、林業普及指導職員をはじめ林業関係者等約六〇名が参加しました。

この研修会は、県内の各普及地区の代表者七名が、日頃の普及活動の取組についての活動発表を行うものであり、今年は、平成三一年四月から始まった「森林経営管理制度」の推進に向けた取組や、ＩＣＴ端末を活用した間伐推進の取組、特用林産物の生産再開や地域の森林整備の再生・加速化に向けた取組などが報告され、それぞれの発表に対し活発な質疑応答が交わされました。

午後からは、ＦＯＲＥＳＴ　ＭＥＤＩＡ　ＷＯＲＫＳ株式会社ＣＥＯの楢崎達也氏より「これから求められる林業担い手の育成について」と題して、林業事業体の組織経営における課題とこれからの組織づくりのあり方等についてご講演をいただきました。

その後、県林業振興課より活動発表に対する講評があり、審査の結果、最優秀賞には山口公康さん（南会津農林事務所）、優秀賞には福地雅弘さん（県中農林事務所）が選ばれました。最優秀賞の山口さんは、秋田県で開催される令和二年度林業普及指導職員東北・北海道ブロックシンポジウムに福島県代表として参加する予定です。

各普及地区からの活動発表課題名は、次のとおりです。

●県北地方における森林経営管理制度推進に向けた取り組み
（県北農林事務所
主任主査　彌勒地浩太）

●スマホを活用した間伐技術の普及
（県中農林事務所
主任主査　福地　雅弘）

●地域内エコシステムの構築に向けて
（県南農林事務所
主任主査　成井　伸司）

●喜多方市のわらびの出荷制限解除に向けて
（会津農林事務所
主査　山田　誠）

●南会津地方における里山林整備の推進について
（南会津農林事務所
技師　山口　公康）

●林業の担い手確保に向けて～相馬農業高校との取組～
（相双農林事務所
主任主査　伊藤　博久）

●手軽なナラ枯れ予防法普及の取組
（いわき農林事務所
技師　片野　高志）

活動発表会

楢崎達也氏の講演

会場の様子

令和元年度

林業研究グループ等活動発表会を開催しました

福島県林業振興課

令和元年度林業研究グループ等活動発表会を令和二年一月二八日（火）、県林業研究センター研修本館で開催し、県内各地の林業研究グループをはじめ林業関係者等約六〇名が参加しました。

この発表会では、森林・林業にかかる学習・研究活動、共同事業などを行っているグループの活動内容を各地区の代表が発表することにより、各林業研究グループの活動の展開に資することを目的に毎年開催しており、今回は六団体から、県産材の普及、森林環境学習・体験活動や里山等の整備、地域資源を活用した伝統文化の継承や地域振興に向けた取組など、様々な活動について発表がありました。

午後には、前日の林業普及指導員全体研修会に続き、ＦＯＲＥＳＴ　ＭＥＤＩＡ　ＷＯＲＫＳ株式会社ＣＥＯ楢崎達也氏より、「これからの地域内連携における森林資源の管理について」と題して、地域内での森林資源管理に活用できる最新ＩＣＴ技術等や新たな取組に向けた課題等についてご講演をいただきました。

その後、県林業振興課前田課長より活動発表に対する講評、審査結果の発表があり、審査の結果、最優秀賞には大方俊浩さん（特定非営利活動法人小野自然倶楽部）、優秀賞には片野恵仁さん（金沢地域里山づくり実行委員会）、特別賞には武田哲男さん（特定非営利活動法人いわき竹プロジェクト）が選ばれました。

最優秀賞に選ばれた特定非営利活動法人小野自然倶楽部の大方俊浩さんは、地元福島県で開催される令和二年度東北・北海道ブロック林業グループ活動発表会に福島県代表として参加される予定です。

各グループの発表課題は、次のとおりです。

●福島地区木材協同組合における木材利用推進の取り組み
（福島地区木材協同組合　理事長　木村　豊）

●地域の林業と子供たちの健全育成（特定非営利活動法人小野自然倶楽部　代表理事　大方　俊浩）

●続！「金沢地域里山再生プロジェクト」
（金沢地域里山づくり実行委員会　片野　恵仁）

●会津地方の伝統文化継承について「ツル編み工芸」編
（ＮＰＯ法人福島県もりの案内人の会　会津支部　渡部　正幸）

●じね～んの森の活動と今後の計画について
（南会津フォレストインストラクター会　弓田　哲司）

●いわき竹プロジェクトの活動
（特定非営利活動法人いわき竹プロジェクト　武田　哲男）

活動発表の様子

楢崎達也氏の講演

表彰式の様子

「企業等による森林（もり）づくり」の活動について

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会

当協会は、県内の森林づくり活動を一層進めるため「みんなで支えよう森森（もりもり）元気事業」に取り組み、ＮＰＯ、企業等が行う森林づくり活動をサポートしております。

この森林づくり活動に取り組むにあたりＮＰＯ、企業等の皆様は、森林所有者などと森林づくり協定を結び、取り組むこととしております。森林づくり活動に関する協定は、表―１のとおりこれまでに計十五件五三・七六㌶の森林について結ばれており、また、東日本大震災により大きな被害を受けた海岸防災林については、表―２のとおり計十七件五・三四㌶の協定が結ばれており、これまで様々な活動が行われてきました。

今年度は、森林所有者などの連絡調整や活動のサポートをさせていただき、表―３のとおり計七・五六㌶の森林づくり活動が行われました。

主な活動内容は、ヒノキ林での間伐や枝打ちなどや、里山のエドヒガンやミツバツツジの植樹作業、海岸防災林のクロマツ植樹や下刈り作業などが行われました。

このようなＮＰＯ、企業等の皆様による森林づくり活動に感謝しますとともに、今後とも「企業等による森林づくり」活動をサポートしてまいります。

表－１　企業等の森林づくり協定締結一覧（Ｒ２．１．31現在）

No.	企業等名	ほか協定者	活動場所	協定締結年月日	協定期間	協定面積(ha)
1	㈱東邦銀行	須賀川市 福島県	未来博記念公園	H21．6．5	H21．6．5～ H24．3．31	2.04
2	㈱東邦銀行	喜多方市 福島県	松山森林公園	H21．10．8	H21．10．8～ H24．3．31	1.14
3	㈱東芝	福島市 福島県北森林組合 福島県	福島市佐原地区	H22．8．25	H22．8．25～ H27．3．31	4.20
4	㈱福島県トラック協会	下郷町中山区 下郷町 福島県（農林水産部長）	南会津郡下郷町中山区	H22．11．6	H22．11．6～ H31．3．31	1.20
5	イオンリテール㈱ マックスバリュー南東北㈱ イオンスーパーセンター㈱	（公財）ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団 福島県	ふくしま県民の森	H23．1．31	H23．1．31～ H28．1．31	8.16
6	㈱ディーエイチシー	猪苗代町 福島県	びわ沢原森林公園	H24．9．7	H24．9．7～ H26．1．28	7.60
7	㈱東邦銀行	北塩原村 福島県	耶麻郡北塩原村大塩地区	H24．9．7	H24．9．7～ H27．3．31	2.06
8	㈱みずほフィナンシャルグループ	下大越共有山林組合 いわき市 福島県	いわき市平下大越地区	H25．4．24	H25．4．24～ R４．3．31	2.27
9	陸奥テックコンサルタント㈱	南会津町 福島県（南会津農林事務所）	南会津町八総地区	H26．5．1	H26．5．1～ H31．3．31	3.00
10	楽天㈱	森林所有者代表 相馬市 福島県	相馬市山上地区	H26．12．26	H26．12．26～ H29．3．31	7.80
11	㈱東芝	福島市 福島県北森林組合 福島県	福島市佐原地区	H27．9．25	H27．9．25～ H30．3．31	5.03
12	㈱東邦銀行	いわき市 福島県	いわき市常磐湯本町日渡地内	H27．10．1	H27．10．1～ H29．3．31	0.78
13	（公財）イオン環境財団	いわき市 福島県	いわき市錦町須賀地区	H29．9．11	H29．9．11～ R２．3．31	1.08
14	日本精工㈱	棚倉町 福島県	棚倉町関口地内	H31．2．4	H31．2．4～ R６．3．31	6.35
15	㈱エイチワン	福島県北森林組合 福島県	福島市佐原地区	R１．10．28	R１．10．28～ R６．3．31	1.05
13者15協定　合計						53.76

表－２　NPO・企業等による海岸防災林の植樹活動協定締結一覧（Ｒ２．１．31現在）

No.	企業等名	ほか協定者	活動場所	協定締結年月日	協定期間	協定面積(ha)
1	福島県森林土木建設業協会	相馬市 (公社)福島県森林・林業・緑化協会 福島県	海岸防災林（相馬市磯部字大洲）	H27．3．25	H27．3．25～ H30．3．31	0.13
2	イオン㈱	相馬市 (公社)福島県森林・林業・緑化協会 福島県	海岸防災林（相馬市磯部字大洲）	H27．3．25	H27．3．25～ H30．3．31	0.12
3	相馬市綜合建設業組合	相馬市 (公社)福島県森林・林業・緑化協会 福島県	海岸防災林（相馬市磯部字大洲）	H27．3．25	H27．3．25～ H30．3．31	0.08
4	緑地創造研究会苗木プロジェクト共同企業体 ※(公財)ヤマト福祉財団出資	相馬市 (公社)福島県森林・林業・緑化協会 福島県	海岸防災林（相馬市磯部字大洲）	H27．3．25	H27．3．25～ H30．3．31	0.13
5	ふるさと再生、菜の花、黒松植樹プロジェクト	相馬市 (公社)福島県森林・林業・緑化協会 福島県	海岸防災林（相馬市磯部字大洲）	H27．3．25	H27．3．25～ H30．3．31	0.08
6	東北電力㈱	相馬市 (公社)福島県森林・林業・緑化協会 福島県	海岸防災林（相馬市磯部字大洲）	H28．3．30	H28．3．30～ H31．3．31	0.42
7	NPO法人日本バーク堆肥協会	相馬市 (公社)福島県森林・林業・緑化協会 福島県	海岸防災林（相馬市磯部字大洲）	H28．3．30	H28．3．30～ R３．3．31	0.12
8	全富士通労働組合連合会	(公社)福島県森林・林業・緑化協会 福島県	海岸防災林（南相馬市鹿島区）	H28．5．14	H28．5．14～ R３．3．31	0.32
9	全富士通労働組合連合会	南相馬市 (公社)福島県森林・林業・緑化協会 福島県	海岸防災林（南相馬市鹿島区）	H28．10．14	H28．10．14～ R３．3．31	0.51
10	東北電力㈱	相馬市 (公社)福島県森林・林業・緑化協会 福島県	海岸防災林（相馬市磯部字大洲）	H29．4．4	H29．4．4～ R２．3．31	0.20
11	(公社)福島県トラック協会	相馬市 (公社)福島県森林・林業・緑化協会 福島県	海岸防災林（相馬市磯部字大洲）	H29．4．4	H29．4．4～ R８．3．31	0.20
12	全富士通労働組合連合会	(公社)福島県森林・林業・緑化協会 福島県	海岸防災林（南相馬市鹿島区）	H29．9．20	H29．9．20～ R４．3．31	1.00
13	東北電力㈱	相馬市 (公社)福島県森林・林業・緑化協会 福島県	海岸防災林（相馬市磯部字大洲）	H30．2．13	H30．2．13～ R３．3．31	0.50
14	福島キヤノン㈱	南相馬市 (公社)福島県森林・林業・緑化協会 福島県	海岸防災林（南相馬市鹿島区）	H30．9．28	H30．9．28～ R３．3．31	0.52
15	関場建設㈱	(公社)福島県森林・林業・緑化協会 福島県	海岸防災林（南相馬市原町区）	H30．10．10	H30．10．10～ R３．3．31	0.08
16	全富士通労働組合連合会	南相馬市 (公社)福島県森林・林業・緑化協会 福島県	海岸防災林（南相馬市鹿島区）	H30．10．16	H30．10．16～ R７．3．31	0.53
17	(公社)福島県トラック協会	相馬市 (公社)福島県森林・林業・緑化協会 福島県	海岸防災林（相馬市磯部字大洲）	R１．10．25	R１．10．25～ R８．3．31	0.40
11者17協定　合計						5.34

表－３　令和元年度企業等による森林づくり活動状況

活動場所	実施者	月　日	面積（ha）
福島市佐原地区	㈱エイチワン	11月２日	0.20
棚倉町関口地内	日本精工㈱	11月24日	1.67
いわき市平下大越地区	㈱みずほフィナンシャルグループ	７月27日	1.40
いわき市錦町須賀地区	（公財）イオン環境財団	12月６～９日	1.08
相馬市磯部字大洲地内海岸防災林	東北電力㈱	９月24～30日 （28、29日除く）	0.20
			0.50
	（公社）福島県トラック協会	10月16～25日	0.08
	NPO法人日本バーク堆肥協会	11月18日	0.12
南相馬市鹿島区南海老地内海岸防災林	全富士通労働組合連合会	5月18～19日、 6月22日、10月５日、 11月２日	0.32
			0.51
			1.00
	福島キヤノン㈱	９月14日、11月29日	0.40
南相馬市原町区雫地内海岸防災林	関場建設㈱	11月11日	0.08
合　計			7.56

海岸防災林のクロマツ植樹

里山のエドヒガンの植樹作業

令和元年度

森林土木研修会を開催しました

福島県森林土木建設業協会
公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会

福島県森林土木建設業協会と公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会は、令和二年一月二七日（月）に福島市の福島県建設センターにおいて森林土木研修会を共催で開催しました。

当日は、森林土木建設業協会会員をはじめ、市町村の職員など約五〇名の参加をいただき実施しました。

昨年の台風十九号（後に気象庁が「令和元年東日本台風」と命名）等による暴風雨は、福島県においても森林・林業・木材産業に甚大な被害をもたらしました。研修会は、災害状況とその対応を正確に理解し、今後本格化する復旧工事における安全対策等について学ぶため開催しました。

両協会を代表し菅家洋一県森林土木建設業協会長が全国の台風被害と対応状況などについてあいさつを述べたあと講義に入りました。

初めに、福島県農林水産部森林整備課主幹鈴木千秋氏が「台風十九号林道施設災害」について講義を行いました。

県との協定に基づく被害状況調査に対して会員へ謝意が伝えられ、林道被害は、①被害がほぼ県全域で発生し、四一市町村六一四路線二、三一三箇所で被害額は四五億四万円余に上り、県内林道総数（一、七七六路線）の約三五㌫が被害を受け、被害額は過去三〇年間で最多を記録。②被害の状態は、路面洗掘が五七㌫、路体・路側決壊が二六㌫などで路面洗掘が最多。と説明がありました。

一方、復旧工事の実施については、災害復旧事業の基本的な考え方を示し、路体の復旧方法として、原形復旧と機能復旧方法の四パターンをイメージ図、写真などを用いながら分かりやすく解説をいただいたほか、災害査定の申請状況について触れ、今後、本格化する市町村の林道災害復旧工事に向け協力依頼がありました。

次に、森林保全課主幹兼副課長宮田博文氏が「台風十九号等による林地の被害と復旧方針」について講義を行いました。

林地の被害は全県で発生し、二一市町村、五二箇所、被害額は一六億三千万円余、過去の同様な降雨のあった台風災（昭和六一年、平成十年）に比較し箇所数、被害額とも大きく減少していることなど被害の概要、また今回の台風等による福島市土湯温泉町、相馬市山上等地内における被害状況と復旧計画の説明のほか、山地災害への対応、治山事業等について解説していただきました。

（研修会の様子）

最後に、福島労働局労働基準部健康安全課労働基準監督官中神貴好氏が「森林土木工事における労働災害の動向等」について本県の林道工事等における災害の発生状況や原因を具体的な事例をあげ説明したほか、建設業における安全管理のポイントなどの講義を行いました。

今回の研修は、県、市町村、会員が一堂に会し、台風十九号等の被害状況とその対応等について学習するとともに情報の共有を図り、今後の復旧・復興向けた活動を行ううえで大変意義のある研修となりました。今後におきましても、森林土木事業の適切な実施に資するよう、充実した内容で研修を開催してまいります。

令和２年度の緑の募金目標額　7,000万円

緑の募金のご協力よろしくお願いいたします

街頭キャンペーン

緑の募金の実績

令和元年度（４月～１月分集計）は、下表のとおり目標額の約９割6,256万円と多額のご寄附をいただきました。県民の皆さまに厚く御礼申し上げます。

緑の募金は、緑豊かな美しいふくしまを未来につなぐため、地域の人々の身近な緑化活動や、森林の整備、次代を担う青少年の森林体験活動などに役立たせていただきました。

令和２年度の「緑の募金」春季募金期間は、例年どおり新年度がはじまる４月１日から５月31日までとなっておりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

令和２年の緑化運動標語

「木を植えて　守り育てる　緑の大地」

〒960-8043
福島市中町５－18　福島県林業会館内
（公社）福島県森林・林業・緑化協会
（緑化推進局　緑化推進課）
TEL 024-524-1480　FAX 024-521-3246

令和元年度「緑の募金」実績（平成31年４月～令和２年１月31日）

単位：円

市・地方緑化推進委員会	募金の種類					募金実績額
	街頭募金	家庭募金	企業募金	職場募金	学校募金	
福島市緑化推進委員会	148,491	0	1,600,074	777,197	1,358,937	3,884,699
伊達市緑化推進委員会	2,123	1,726,009	222,354	285,466	52,556	2,288,508
伊達郡緑化推進委員会	47,334	1,062,227	239,000	155,746	32,623	1,536,930
二本松市緑化推進委員会	4,892	1,341,400	327,002	231,921	224,406	2,129,621
本宮地域緑化推進委員会	25,302	898,700	462,800	98,505	121,817	1,607,124
国土緑化郡山市推進委員会	24,068	7,018,420	1,143,116	842,739	1,384,478	10,412,821
須賀川市緑化推進委員会	22,423	1,657	691,393	332,100	337,160	1,384,733
国土緑化岩瀬地方推進委員会	0	468,800	3,602	68,180	37,847	578,429
田村地方緑化推進委員会	59,603	1,834,500	384,455	418,867	41,079	2,738,504
国土緑化石川地方推進委員会	37	1,061,550	261,516	195,731	289,814	1,808,648
白河市緑化推進委員会	4,800	1,022,020	446,262	256,600	50,700	1,780,382
国土緑化西白河地方推進委員会	7,698	1,373,400	400,033	190,732	53,926	2,025,789
国土緑化東白川地方推進委員会	53,780	881,862	189,980	194,548	39,773	1,359,943
会津若松市緑化推進委員会	30,429	3,448,450	537,491	804,375	397,281	5,218,026
両沼地方緑化推進委員会	665	1,436,166	113,030	178,250	0	1,728,111
会津耶麻地方緑化推進委員会	2,700	940,100	111,060	183,747	137,544	1,375,151
喜多方市緑化推進委員会	9,381	1,539,900	348,244	506,629	9,828	2,413,982
南会津地方緑化推進委員会	35,978	1,309,050	38,184	181,895	39,821	1,604,928
相馬地方緑化推進委員会	163,023	1,079,700	0	574,395	0	1,817,118
双葉地方緑化推進委員会	0	0	0	0	0	0
いわき市緑化推進委員会	22,388	8,308,931	1,197,646	1,491,871	330,727	11,351,563
小計	665,115	36,752,842	8,717,242	7,969,494	4,940,317	59,045,010
事務局	155,523	0	2,361,697	1,006,715	0	3,523,935
合計	820,638	36,752,842	11,078,939	8,976,209	4,940,317	62,568,945

※街頭募金にイベント募金、常設募金等を含む。

普及指導員通信

会津産木材の利用推進に向けた取組

福島県会津農林事務所
林業普及指導員　長谷川　健　二

〈はじめに〉

利用期を迎えている人工林の森林資源を適正に管理していくためには、会津産木材の需要拡大を図りながら、循環利用を進める必要があります。また、継続的かつ安定的に会津産木材の流通が図られるよう、市場が求める品質に対応した供給体制の確立を進めるとともに、更なる需要の掘り起こしと木材の利用を促進していく必要があります。

〈普及員としての取組〉

県産木材及び木質バイオマスの利用を促進するための一環として、市町村等が実施する森林環境交付金事業（地域提案重点枠）を通じて積極的に各施設への木材利用を働きかけました。民間保育施設からの事業要望については、補助事業に慣れていないこともあり、市町村担当者と一緒に丁寧な説明を行いました。時間を要しましたが、事業で該当となる木製品の事例紹介や見積比較の方法等の支援や会津産材を取り扱う業者等の情報提供を行いました。これにより保育施設の１つには、ホオノキやトチノキ等６樹種を使用した樹種毎のテーブル（写真左）が導入されました。こども達は樹種毎に感触の異なるテーブルにスリスリと直接手で触れるようになり、「木の肌触りの心地良さを楽しむようになった。」との話がありました。保護者からも「テーブルの色が良い」、「見ていて楽しい」といった感想を頂きました。また、別の保育施設に導入された園児用椅子（写真右）については、長年の使用により痛んだ座面のみを交換するようにしました。この椅子を使用する園児が物を大切にする心を育むとともに木のぬくもりに親しみを持ってくれればと考えます。

結果として、平成30年度は、市町村への理解も広がり管内の29施設に県産木材を活用した下駄箱等の各種木製品、ペレットストーブや薪ストーブが導入されたほか、公共施設の内装木質化等により約21㎥の県産木材が利用されました。

〈今後の取組〉

管内では、全ての市町村で公共建築物等木材利用促進法の施行に伴う利用方針が策定され、教育施設や道の駅など木造公共建築物が供用されています。さらに、小学校など公共施設の新設にあたり内装木質化を計画している市町村もあります。これらの計画について情報収集を行い、管内の素材生産業者及び製材業者等の関係者との調整を行いながら、会津産木材の調達を円滑に進め、その利用促進が図られるようこれからも支援を行っていきたいと考えています。

〈導入された木製品〉

テーブル（左：ホオノキ、右：トチノキ）

座面だけ交換した園児用椅子

森連だより

GIS活用研修会を開催しました

研修風景

福島県森林組合連合会

当研修会は平成二九年度にも開催（平成三〇年三月号参照）していますが、近年のオープンデータの充実や、ＧＩＳソフトのバージョンアップによる豊富な解析機能など、業務での活用が期待されるほか、実際に業務でＧＩＳを使用している方々からの開催要望もあり、岩手大学農学部の斎藤仁志氏を講師に迎え「フリーソフト・オープンデータを用いたＧＩＳシステムの利用方法について」と題し、開催しましたのでご紹介します。

研修会では、オープンソースとして公開されているＧＩＳソフトの中でも、県内事業体での活用実績があり、プラグインによる機能の追加、他のＧＩＳとの互換性が高い等の理由からＱＧＩＳを使用し、実際にパソコンでの操作演習を行いました。今回初めてＱＧＩＳを操作する方もいたので、研修会参加後も引き続きＧＩＳシステムが利用できるように、パソコンは参加者各自に持参してもらいました。

研修内容としては、情報管理ツールとしてＧＩＳを活用するだけでなく、高度利用を目的としたオープンデータの取得や、取得した各種データを用いた解析手法などの演習を行いました。また、参加者から事前に要望を聞き取りし、コンパス測量成果の表示や作成したレイヤーをスマートフォンやハンディＧＰＳへ出力する方法、業務に有用なアプリの紹介なども併せて実施しました。

研修生からは、学びたいことをピンポイントで学ぶことが出来た、操作で分からなかった点が解決したなどの意見のほかに、ＧＩＳの操作に慣れた参加者は、演習で学んだ操作を早速駆使して、森林調査や測量データなどの実際の業務データをＱＧＩＳに取り込んでいました。

一方で、一度操作につまずくと、それ以降の操作が出来ず、研修内容を十分に理解できなくなってしまう場面もありました。こうした際には、事務局も演習の補助として対応しましたが、参加者が多く全体をカバーすることが出来なかったり、事務局自体も演習に対応できなかったりするなど課題も多く残りました。

今回の研修会は一日限りの開催でしたが、複数日かけて基礎から応用へと段階を重ねての開催や、ある程度人数を制限することも検討しなければならないと感じました。

最後に、林業においても「スマート林業」という言葉が普及しつつあり、今後ＧＩＳに限らず様々な情報技術が業務上、必須となってくることが予想されます。そして、こうした情報技術の多くは今日無償・低価格化により容易に利活用することが出来ますが、その反面、使いこなすためには、多くの時間と知識が必要となります。

そうした悩みや課題について一助となれるよう研修会を今後も実施していきたいと考えておりますので、要望がございましたら当会までお気軽にお声がけ下さい。

きのこセンターだより

福島県産きのこ安心安全PR販売及び試食会を実施して

きのこ振興センター

福島県きのこ振興協議会では、農作物の中でも未だに続く県産きのこ類の風評被害を払拭するため、「ふくしまプライド。」販売力強化支援事業を利用して、令和元年十一月一日から令和二年一月三一日まで延べ五回にわたり日本橋ふくしま館ミデッテにおいて県産きのこのＰＲ販売と県産きのこを使用したきのこ料理のＰＲ試食会を実施しました。県産きのこのＰＲ販売は、いわき市「小川きのこ園」のエリンギとシイタケ、郡山市「鈴木農園」のナメコ、同市「柳橋舞茸工房」のマイタケ、梁川町「酒井農園」の県オリジナル品種であるふくふくしめじ（ほんしめじ）などを販売しました。また、きのこ料理のＰＲ試食会は、安全で美味しい県産きのこをＰＲするために東京野菜ソムリエの会「チームふくしま。」の協力の下、オリジナルきのこ料理メニューを三種類開発して一日当たり五〇食を提供しました。料理は、各きのこ素材の特色を生かした「洋食」「和食」とバラエティーに富んだメニューで、アンケートでは高い評価を得ることができ、試食後は〝美味しかったので是非、家で作りたい〟ときのこを購入していくお客様も多く見受けられました。

きのこPR販売の様子（東京都　ミデッテ内）

また、ＰＲ配布用として県産エリンギ、ナメコ、エノキタケ、シイタケを使用して昨年同様製造した「特製美味しいなめ茸瓶詰」、今年新たに県オリジナル品種である「ほんしめじ」を使用して製品化した「ふくふくしめじのご飯の素」も〝素材の美味しさが伝わる〟と好評で需要拡大に一役買いました。今年で原発事故から九年が経過しますが、今だに県産きのこの風評は続いています。近く開催される東京オリンピック・パラリンピックを大きなバネとして早期の「県きのこ産業」の完全復興のためにも、県内外に向けて県産きのこの「安心・安全」と「美味しさ」を掲げたＰＲ活動は必要不可欠で、引き続き力を入れていきたいと思います。

提供したきのこオリジナル料理
（県産オリジナル品種である「ほんしめじ」を使用した「ふくふくしめじの肉巻き定食」）

福島県産きのこ安心安全PR販売及び試食会内容一覧

日　時	場　　所	Ｐ　Ｒ　内　容	PR料理提供内容
11月１日・２日	東京都（ミデッテ）	きのこPR販売	
11月15日・16日	東京都（ミデッテ）	きのこPR販売及び料理試食会	ふくふくしめじの肉巻き定食
12月20日・21日	東京都（ミデッテ）	きのこPR販売及び料理試食会	きのこたっぷり押し寿司定食
１月17日・18日	東京都（ミデッテ）	きのこPR販売及び料理試食会	きのこたっぷりチキンのクリーム煮定食
１月30日・31日	東京都（ミデッテ）	きのこPR販売	

木の文化を育む⑫

福島県森林自己学習支援事業報告会＋勉強会①

（アカデミア・コンソーシアムふくしま）

郡山女子大学 人間生活学科 建築デザインコース 准教授　阿　部　恵利子

○はじめに

令和二年二月一日、郡山女子大学にて、アカデミア・コンソーシアムふくしま主催、福島県森林自己学習支援事業報告会及び勉強会が開催されました。今年度の報告会では、福島県森林自己学習支援事業で採択された、福島学院大学、福島大学、桜の聖母短期大学、郡山女子大学の四大学五団体が実施した活動の成果を発表しました。また、勉強会では三島町役場で桐専門員を務める藤田旭美さんが三島町の特産である桐の栽培や研究調査について解説しました。木の文化を育む⑪⑫では、各団体の活動と勉強会の内容を紹介します。

○福島学院大学

「アウトドアスポーツを通して福島の森林を学ぶプロジェクト」では、アウトドアスポーツクラブの活動を通し、森林が木材生産以外に自然保護や観光など、様々な面で役立っていることや東京電力福島第一原子力発電所の事故以来、その利用再開に向けた状況について学ぶことを目的に、御幸山例大祭・山開きへの参加や浄土平山開き・清掃登山の開催、霊山除染学習キャンプなどを実施しました。里山を利用した地域おこしが、地域の活性化につながったこと、森林除染がどのようなものか、また、地元の方々が除染についてどう思っているかなど、さまざまな視点から福島の森林について学びました。

○福島大学

「磐梯山麓・猪苗代・郡山西部における森林資源循環と地域活性化」では、地域全体で里山再生と地域活性化を図るために、里山資源の活用について検討しました。猪苗代フェスティバルや福島フードフェス、福島大学学園祭などにおいて、福島県産の食材の認知と魅力発信のために、南会津産のシイタケを使用した串焼き・打ち豆汁の販売、薪割体験などを実践し、自然共生・資源循環による町づくり・地域活性化のモデルを提示しました。これらの活動を通して、里山資源の価値を高めるための方策や過疎化・高齢者による里山整備の担い手不足、地域のコミュニティーづくりなど、新たな課題を見出すことができました。

○桜の聖母短期大学

「只見の森「たもかく」プロジェクト～只見木材加工組合の取り組み～」では、〝本と森（土地）を交換する〟に着目し、たもかく本の店、吉津社長の『本と森を用いて、田舎の活性化を図りたい』という想いから、只見＝た・木材＝も・加工＝か・組合＝く（たもかく）が誕生した経緯を学びました。また、店には一五〇万冊の本があり、貴重な古本も所有している様子を見学しました。本と交換される「たもかくの森」は三〇万坪あり、段ボール三個分の古本は十二坪の森と交換することができます。金額にして、八、九六〇円です。学生たちは、見学の背景に各地方に起こりうる過疎化の問題があること、一つの事業を長期的に継続する事の難しさ、希少な樵の森林保護と活用法について検討する必要性を感じました。

○まとめ

福島県の森林をフィールドに、学生団体が若い感性で、さまざまな活動に取り組み、学びの機会を得ることができました。次号も引き続き、学生団体の活動と勉強会の内容について紹介します。

成果発表及び質疑応答の様子

木材市況

十一月の原木市場への入荷量は、前月比一二㌽増（前年比四㌽増）の二七、三一八立方㍍となっている。

販売量は、前月比一五㌽増（前年比七㌽減）の二七、一二九立方㍍となっている。

十二月の価格は弱含みとなっている。

素材の価格〈工場着価格〉（2019年12月15日現在）

（単位：㎥当り千円）

区分		形量 径(cm)	形量 長さ(m)	材質	樹種	中通り地方 当月	中通り地方 前月差	会津地方 当月	会津地方 前月差	浜通り地方 当月	浜通り地方 前月差	県平均 当月	県平均 前月差
一般用材	小	5～9	4.00	並	スギ	11 (10～13)		(0～ 0)		9 (9～ 9)		11 (9～13)	
		10～14		並	スギ	13 (13～14)		(0～ 0)		12 (12～13)		13 (12～14)	
	中	14～22	3.00	並	スギ	13 (10～15)		13 (13～13)		12 (12～13)	△1	12 (10～15)	△1
				並	ヒノキ	18 (16～19)	△1	(0～ 0)		15 (14～16)		16 (14～19)	△1
			6.00	並	スギ	16 (15～17)		10 (10～10)		17 (17～18)	△1	16 (10～18)	
				並	ヒノキ	28 (25～32)	△2	(0～ 0)		23 (20～25)		25 (20～32)	△1
		20～28	3.65	並	スギ	12 (12～13)	△1	11 (10～12)		13 (12～13)		12 (10～13)	
			4.00	並	スギ	12 (11～13)		11 (11～11)		13 (12～13)		12 (11～13)	
				並	アカマツ	10 (9～12)		(0～ 0)		10 (9～10)		10 (9～12)	
			1.80	並	アカマツ	8 (5～11)		(0～ 0)		8 (8～ 9)		8 (5～11)	
外材	米材(定尺)	30以上	10.00	並	米ツガ	(0～ 0)		(0～ 0)		30 (30～30)		30 (30～30)	
				並	米マツ	(0～ 0)		30 (30～30)		28 (28～28)		29 (28～30)	
	北洋材(定尺)	28以下	3.80	並	エゾマツ	(0～ 0)		(0～ 0)		25 (25～25)		25 (25～25)	
			4.00	並	アカマツ	(0～ 0)		(0～ 0)		25 (25～25)		25 (25～25)	
				並	カラマツ	(0～ 0)		(0～ 0)		25 (25～25)		25 (25～25)	
パルプ用材				並	マツ	7 (7～ 7)		(0～ 0)		7 (7～ 7)		7 (7～ 7)	
				並	広葉樹	10 (10～10)		(0～ 0)		(0～ 0)		10 (10～10)	

区分	形量 径(cm)	形量 長さ(m)	材質	樹種	会津共販 当月	会津共販 前月差	いわき 当月	いわき 前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(0～ 0)		7 (6～ 9)	
	13～14		並	カラマツ	(0～ 0)		8 (7～ 9)	
	16以上		並	カラマツ	(0～ 0)		10 (9～10)	

注）1．前月差の△印は値下りを示す。
2．（ ）内は各地域の価格幅、（ ）外は各地域の平均的価格を示す。
3．一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。
4．各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。

ふくしま東西南北

南郷のヒメサユリ

南会津農林事務所　細澤めぐみ

南会津農林事務所勤務となってから、四季折々の自然豊かな南会津地方を満喫してきました。管内には尾瀬や大内宿など、見所はたくさんありますが、その中で特に印象に残っているのは、南会津町南郷地区のヒメサユリ（通称「天空のひめさゆり」）です。南郷といえば、南郷トマトを想像する方もいると思いますが、今回この可憐な花たちにスポットを当てて紹介したいと思います。

ヒメサユリとはユリ科の植物で、一般にはオトメユリと呼ばれますが、群生地がある地域ではヒメサユリの名で親しまれています。宮城県南部及び山形県・福島県・新潟県の一部でしか見られない貴重な植物であり、環境省のレッドリストに準絶滅危惧種として掲載されています。

南郷地区の高清水自然公園には、ヒメサユリの群生地があり、野生のヒメサユリが一〇〇万本も自生しています。山の斜面一帯にヒメサユリが咲き誇る様子は圧巻の一言です。

高清水自然公園の手前に位置する南郷スキー場でも見ることができます。こちらのヒメサユリは、野生ではなく人の手で育てられたものではありますが、スキー場全体に咲くヒメサユリも見応えのあるものです。

高原のさわやかな空気、南郷地域を見下ろすパノラマ、そしてピンク色が可愛らしいヒメサユリが待っていますので、初夏に南会津地方を訪れた際には、足を運んでみてはいかがでしょうか。

はなしのひろば

桜の炎

去る一月十七日、夜明け前の神戸の街に、トランペットで奏でる「花は咲く」が響き渡った。神戸から響き渡る「花は咲く」はまたひとしおで、聞き入った。実にやさしく切ない鎮魂の音色だった。

東日本大震災から九年が経つ。大熊町の一部地域で避難指示が解除され、福島第二原発の廃炉が正式に決定された。三月十四日には常磐線が全線開通をする。また、双葉消防本部の三・一一を綴った「弧塁　双葉郡消防士たちの３・11」（岩波書店）が刊行された。そして、大槌町の「風の電話」は、平成三〇年ボランティアにより二代目のボックスが置かれた。被災地には、九年目から始まるそれぞれの復興がある。

さて、いよいよ国内の聖火リレーが始まる。この聖火、三月二十二日ヘラ神殿（ギリシャ）で太陽光から採火され、三月二六日午前十時、Ｊヴィレッジからスタートする。この聖火リレートーチは、桜の花をモチーフに先端が五つに分かれ、火がつくと五つの炎がひとつになる。美しく、風雨にも耐える強い炎を作るため「世界初」に挑んだデザイナーや技術者たちにも相当な試行錯誤の日々があったに違いない。また、トーチのアルミの約三割は、東日本大震災被災地の仮設住宅で使われた資材を原料としている。復興五輪と位置づけられた東京２０２０オリンピック・パラリンピック。まずは、七月二四日開会式への一二一日間、この小さくも美しく強い桜の炎を繋いで、一万一千人が四七都道府県八五八市町村を、駆け抜けていく。

今年の春は、二度「桜」を楽しめそうだ。

（都）

表紙の写真

「天狗山の春」
第16回ふくしま森林・林業写真コンクール
奨励賞
受賞者　黒澤　文さん（白河市）
撮影場所：白河市

編集　福島県内四森林管理署
発行　福島県森林・林業・緑化協会
発行人　福島県森林組合連合会
福島県木材協同組合連合会
福島県農林種苗農業協同組合
ふくしま緑の森づくり公社
森林研究・整備機構福島水源林整備事務所
福島県森林・林業・緑化協会
水戸典明
陽光社印刷株式会社
（福島市中町五番一八号県林業会館内）
（定価　一一〇円）

お知らせコーナー

○野生山菜等の採取及び出荷・販売について

これから山菜の季節となります。国から出荷が制限されている市町村から採取された野生山菜等は出荷・販売、飲食店や宿泊施設などでの提供、無償譲渡を行うことができませんのでご注意ください。なお、野生山菜等の出荷制限については福島県林業振興課のホームページで最新の情報をご確認ください。検索ワードは「福島県　山菜　出荷制限」です。
（https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36055c/ringyo-monitoring.html）

また、出荷が制限されていない市町村で出荷を希望する場合は、出荷前にモニタリング検査を行う必要がありますので、県農林事務所までご相談ください。

安全な野生山菜等の流通を図るため、皆様のご協力をお願いします。

○連絡先一覧

市町村名	事務所名	住所・連絡先
福島市、二本松市、伊達市、本宮市、伊達郡・安達郡の町村	県北農林事務所（森林林業部）	福島市杉妻町２－16（福島県庁北庁舎５階）
		024－521－2632
郡山市、須賀川市、田村市、岩瀬郡・石川郡・田村郡の町村	県中農林事務所（森林林業部）	郡山市麓山一丁目１－１
		024－935－1367
白河市、西白河郡・東白川郡の町村	県南農林事務所（森林林業部）	棚倉町大字関口字上志宝50－１
		0247－33－2123
会津若松市、喜多方市、耶麻郡・大沼郡・河沼郡の町村	会津農林事務所（森林林業部）	喜多方市松山町鳥見山字下天神６－３
		0241－24－5734
南会津郡の町村	南会津農林事務所（森林林業部）	南会津町田島字根小屋甲4277－１
		0241－62－5375
相馬市、南相馬市、相馬郡の町村	相双農林事務所（森林林業部）	南相馬市原町区錦町一丁目30
		0244－26－4305
双葉郡の町村	富岡林業指導所	富岡町小浜553－２
		0240－23－6084
いわき市	いわき農林事務所（森林林業部）	いわき市平字梅本15
		0246－24－6193

備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。

1 火災
山火事で受けた損害

2 風害
暴風による根返り、幹折れなどの損害

3 水害
豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害

4 雪害
大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害

5 干害
乾燥による枯死などの損害

6 凍害
凍結、寒風などによる枯死などの損害

7 潮害
潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害

8 噴火災
火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》
竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255㈹

または最寄りの森林組合

イワフジの GP シリーズ

GP-35B グラップルプロセッサ

IWAFUJI INDUSTRIAL CO., LTD.

傾斜地に対応した全旋回チルトプロセッサ
・最大 38 度のチルト機能により傾斜地での作業性が大幅に向上
・全旋回ロータータにより油圧ホースが絡む心配不要
・サイドカッター解除機能により曲がり材に対応
・大容量油圧システムと強化型送りモータによるパワフルな送材

最新の GP-8 コントローラを搭載
・5.7 インチカラー液晶ディスプレイによる多彩な情報表示
・感圧式タッチパネル採用により操作性が向上
・A,B,C,D の 4 コード毎に 4 種類、合計 16 種類の測長設定値
・樹種を 4 種類登録でき、個別に測長調整値の設定が可能
・材積集計機能を標準で搭載

新開発のスタッドローラ（オプション）
・鉄輪の全周に装着された無数のスタッド（鋲）が材を強力に捉え、送りモータのトルクを伝えます。
・特殊形状のスタッドを一体化したシンプルな構造で、メンテナンスが容易

For the future with forest

イワフジ工業株式会社
http://www.iwafuji.co.jp/

（北関東支店）福島県郡山市八山田 5-314
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168
（本社・工場）岩手県奥州市水沢字桜屋敷西 5-1
（支　　店）札幌・東北・北関東・関東・中部・関西・九州

林業福島 三月号 通巻第六六七号
令和二年三月一日発行
（毎月一回一日発行）
監修 福島県農林水産部
編集発行人 水戸 典明
発行所 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
福島市中町五番十八号 県林業会館内
定価一一〇円
年間購読料一、九八〇円（税・送料込）

レインボー薬品の薬剤と資材

緑地管理の未来をひらく

わたしたちは、人と自然の調和を考えながら、より良い緑の環境づくりを目指しています

松くい虫予防薬剤

ヤシマスミパイン乳剤
スミパインMC
マツグリーン液剤2
グリンガード・NEO

くん蒸剤

ヤシマNCS

くん蒸用生分解性シート

くん蒸与作シート

ハチ退治

ハチノックL（巣処理用スプレー）
ハチノックS（携帯用スプレー）

レインボー薬品株式会社
東京都台東区上野1-19-10
お問い合わせ　TEL. 03(6740)7777
平日 9:00~17:00（土・日・祝日は休み）

ZENOAH®
人と共に　緑と共に

For Professional
BCZ275GW-DC
排気量 25.4cc

For Professional
GZ3950EZ
排気量 39.1cc
GZ4350EZ
排気量 43.1cc

ZHM1550RR
刈幅：1500mm　出力：27.5kW

SR3100
破砕径：200mm 出力：18.4kW

ハスクバーナ・ゼノア㈱ 福島県代理店
(有) うねめ林業機械
TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108-1